

いざというときのために 大野城市国民保護図上訓練

11月24日(金)、武力攻撃や大規模テロなどの発生を想定した国民保護図上訓練を市で初めて行いました。訓練の想定は、市内公共施設で爆破事案が発生し、その後、鉄道駅の爆破予告が行われるというもので、市職員が負傷者の救護や避難計画作成など、緊急事態への対応についてのシミュレーションを行いました。また、福岡県をはじめ、自衛隊、警察、消防の関係機関も訓練に参加し、各機関における役割分担や連絡調整の確認などを行いました。今後も訓練などを重ね、市全体での緊急事態対応力の向上を図ります。



みんなのチャレンジアート展

11月29日(水)から12月4日(月)まで、まどかぴあ多目的ホールで3回目となる「みんなのチャレンジアート展」が開かれました。市内のNPO法人コミュニケーションアートや社会福祉法人野の花学園で構成された実行委員会により開催され、今年は子どもから高齢者まで約1000人が来場し、障がいのあるアーティストの作品からパワーを感じていました。12月2日(土)には、アーティストによるライブアートが行われ、多くの来場者から力強い作品に驚きの声が響いていました。



平成29年度 中学生の「税についての作文」 入選作品表彰式

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁主催の中学生の「税についての作文」に、市内中学生6人が入選しました。12月6日(水)、各賞の表彰式が大野城市役所で行われました。

入選作品 (敬称略) ◇市長賞「暮らしと税金」中村美優 (大野中) ◇教育長賞「豊かな日常を未来に繋ぐために」後藤啓志 (大野東中) ◇福岡国税局長賞「税について」升水由乃 (大野東中) ◇筑紫県税事務所長賞「僕たちと税金の今と未来」鶴瀬貴視 (大利中) ◇署連会長賞「私たちの税金」樋口和貴 (大野東中) ◇法人会会長賞「もし私たちの国から税金が消えたなら」平井なつは (大野中)



大文字



明けましておめでとうございます。皆さんはこの年末年始どのように過ごしましたか？年末は年越しそば、年始はおせちやお雑煮を食べているのではないのでしょうか。

実家の近くの公民館でそば打ち道場があることを知って、数年前からそば打ちの勉強をしています。はじめると徐々に楽しくなり、道具をそろえ、そば包丁を買い、家でも練習をしました。その甲斐あってか、最近身近所の人にお裾分けしても、恥ずかしくないようになりました。

ちなみに、なぜ年越しにそばを食べるのかご存知ですか？諸説ありますが、他の麺と比べて切れやすいことから「今年一年の厄を断ち切る」という意味や、細く長いことから「健康長寿」「家運長命」などの縁起をかついで食べるようになった、などがあるそうです。

そばを打つ側からするとブツブツ切れるそばより、細く長く、均等に打つところが腕の見せ所です。ヘトヘトになるまで打ったそばは、去年より上手に打てたと思います。

⑬